

2012年4月27日 全2頁

## 2012年1-3月期GDP予想

～前期比年率+1.9%を予想

経済調査部  
エコノミスト 長内 智

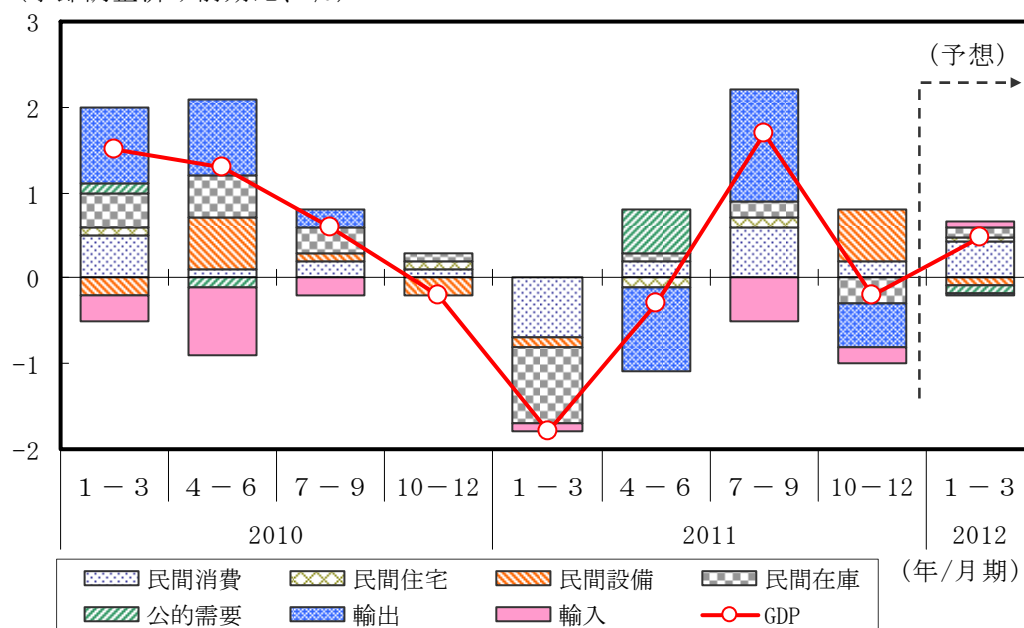
日本経済は持ち直しへ

## [要約]

- 2012年1-3月期GDP 1次速報（2012年5月17日に公表予定）では、実質GDPが前期比+0.5%（年率換算+1.9%）と2四半期振りのプラス成長になる見込みである。
- 民間消費は前期比+0.7%と4四半期連続のプラスになると予想する。民間消費の基調は、エコカー補助金の復活の効果、雇用・所得環境と消費者マインドの改善を受けて、底堅い状況が続いている。公共投資（公的固定資本形成）に関しては、足下で増加基調に転じており、前期比+5.1%と3四半期振りのプラスになる見通しである。
- 輸出は前期比▲0.1%と僅かながらも2四半期連続のマイナスと予想するが、2011年秋以降の輸出の減少傾向には底打ち感が出るとみている。輸入は前期比▲0.4%と11四半期振りのマイナスとなる見込みである。

図表1：実質GDPの推移

(季節調整済み前期比、%)



(出所)内閣府統計より大和総研作成

### 1-3月期実質GDP P成長率は前期比年 率+1.9%と予想

2012年1-3月期GDP1次速報(2012年5月17日に公表予定)では、実質GDPが前期比+0.5%(年率換算+1.9%)と2四半期振りのプラス成長になる見込みである。日本経済は、①海外経済の減速、②円高の長期化、③代替燃料の輸入拡大、④復興需要の後ずれによって、2011年10-12月期に一旦足踏みした。しかし、個人消費の改善と公共投資の拡大などを背景に、実質GDPは持ち直すとみられる。内需の前期比寄与度は+0.4%ptと4四半期連続のプラスになり、外需の前期比寄与度は+0.1%ptと2四半期振りのプラスになると予想する。

### 民間消費は改善基調 が続く

民間消費は前期比+0.7%と4四半期連続のプラスになると予想する。民間消費の基調は、エコカー補助金の復活の効果、雇用・所得環境と消費者マインドの改善を受けて、底堅い状況が続いている。2011年7月の地上デジタル放送への完全移行から続くテレビ販売の低迷が、依然として消費の重石になっているものの、その影響は徐々に減衰すると考えている。

### 公共投資は増加基調 に転じる見込み

民間企業設備投資は前期比▲0.7%と3四半期振りのマイナスになると予想する。これは2011年10-12月期の伸びが高かったことの影響が主因である。設備投資の基調については、緩やかな増加が継続していると考えている。公共投資(公的固定資本形成)に関しては、足下で増加基調に転じており、前期比+5.1%と3四半期振りのプラスになる見通しである。住宅投資は前期比+2.0%と2四半期振りに増加すると見込む。住宅投資は、被災地域の住宅再建、消費者マインドの改善、「復興支援・住宅エコポイント」と「フラット35S、フラット35Sエコ」の復活・新設などがプラスに作用し、持ち直し傾向にある。

### 輸出に底打ち感

輸出は前期比▲0.1%と僅かながらも2四半期連続のマイナスと予想するが、2011年秋以降の輸出の減少傾向には底打ち感が出るとみている。この背景として、今年の2月以降の円高修正、タイの大洪水に伴う復旧需要、経済回復が続く米国向け輸出の改善が指摘できる。輸入は前期比▲0.4%と11四半期振りのマイナスとなる見込みである。ただし、原子力発電所事故・稼働停止問題に伴う代替燃料の需要は拡大しており、輸入の増加基調自体は崩れていない。

図表2：2012年1-3月期GDPの予想表

		2011				2012
		1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期 (予想)
実質国内総生産 (実質GDP)	前期比%	▲ 1.8	▲ 0.3	1.7	▲ 0.2	0.5
	前期比年率%	▲ 6.9	▲ 1.2	7.1	▲ 0.7	1.9
民間最終消費支出	前期比%	▲ 1.1	0.3	1.0	0.4	0.7
民間住宅	前期比%	1.6	▲ 2.4	4.5	▲ 0.7	2.0
民間企業設備	前期比%	▲ 0.6	▲ 0.1	0.3	4.8	▲ 0.7
民間在庫品増加	前期比寄与度%pt	▲ 0.9	0.1	0.2	▲ 0.3	0.1
政府最終消費支出	前期比%	0.5	0.8	0.3	0.4	▲ 1.9
公的固定資本形成	前期比%	▲ 2.4	6.6	▲ 1.6	▲ 2.2	5.1
財貨・サービスの輸出	前期比%	▲ 0.3	▲ 6.2	8.6	▲ 3.1	▲ 0.1
財貨・サービスの輸入	前期比%	1.0	0.3	3.4	1.0	▲ 0.4
内需寄与度	前期比寄与度%pt	▲ 1.6	0.7	1.0	0.5	0.4
外需寄与度	前期比寄与度%pt	▲ 0.2	▲ 1.0	0.8	▲ 0.6	0.1
名目GDP	前期比%	▲ 2.1	▲ 1.2	1.4	▲ 0.5	0.4
	前期比年率%	▲ 8.0	▲ 4.9	5.8	▲ 1.8	1.6
GDPデフレーター	前年比%	▲ 1.9	▲ 2.3	▲ 2.1	▲ 1.8	▲ 1.6

(注1) 寄与度の合計は四捨五入の関係上、GDP成長率と必ずしも一致しない。

(注2) GDPデフレーターのみ原系列、その他は季節調整値。

(出所) 内閣府統計より大和総研作成